

2月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和8年2月17日(火)
開催日時	午後3時26分
開催場所	市役所4階庁議室
出席委員	教育長 江嶋 久典 職務代理者 佐々木 美徳 委員 木下 靖郎 委員 古田 嘉寿美 委員 山崎 清男
出席参与	教育次長 衣笠 雄司 教育総務課長 渡辺 寛幸 学校教育課長 阿部 一徳 社会教育課長 鹿毛 義昭 博物館長 長澤 正之 淡窓図書館長 川邊 好美 人権・部落差別解消教育課長 杉野 淳太郎 学校給食課長 本川 明
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 井上 修吉
附議議案	議案第2号 日田市教育委員会の委員の定数に関する条例の廃止 について 議案第3号 令和7年度日田市一般会計補正予算教育費について 議案第4号 令和8年度日田市一般会計予算教育費について 議案第5号 日田市フリースクール利用料補助金交付要綱の一部 改正について 報告第2号 令和7年度12月日田市実施分学力調査の結果につ いて 報告第3号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に ついて

<p>教 育 長</p>	<p>ただ今から2月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに、1月定例教育委員会の議事録の確認でございますが、変更はありませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただきましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の一般報告につきましては、お手元に配布しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>ただ今から議事に入りますが、議案第2号から第4号までにつきましては、本委員会の意思形成過程の段階にある案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び日田市教育委員会会議規則第14条第1項の規定により、審議を非公開としたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それではご異議なしということで、議案第2号から第4号までにつきましては、非公開審議といたします。</p> <p>本日の議事進行は、初めに公開による議事を行ったのち、その後非公開による審議を行うことといたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは初めに、議案第5号について説明をお願いします。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>議案第5号 日田市フリースクール利用料補助金交付要綱の一部改正について、議案集は6ページから7ページですが、8ページから9ページの概要でご説明申し上げます。</p> <p>本議案は、令和7年4月1日付で、大分県教育委員会において、「フリースクール等利用者支援事業費補助金交付要綱」及び「フリースクール等利用者支援事業補助事業実施要領」が施行されたことに伴い、「日田市フリースクール利用料補助金交付要綱」を見直すものでございます。</p> <p>改正の主な内容としましては、2点ございます。</p> <p>1点目は、新規に認定施設として認定を受けようとするフリースクールは、これまで日田市フリースクール認定申請書に所定の書類を添えて日田市教育委員会に申請を行うこととしておりましたが、改正後は、大分県教育委員会によるフリースクール等認証を受けている場合は、当該認証を受けていることを証する書類の写しを、日田市教育委員会に提出することで、必要な添付書類に代えることができるようにするというものです。</p> <p>今後は新しく認定を希望するフリースクールは、基本的には大分県教育委員会に申請し、その後日田市に申請する流れになることから、日田市教育委員会への申請を簡略化できるようにしてお</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ります。</p> <p>2点目は、補助対象者区分及び限度額の見直しでございます。</p> <p>これまで10割負担の補助対象者は、生活保護の受給者世帯としておりましたが、県の基準にあわせて、生活保護受給世帯または就学援助を受けている世帯の場合にも補助対象となります。</p> <p>また限度額についても、これまで10,000円としていた限度額を、県の基準に合わせて15,000円とするものです。</p> <p>本要綱につきましては県の補助要綱に合わせて、令和7年4月1日に遡って適用することとしており、すでに支給した補助金については、不足額を追加支給することとしております。</p> <p>学校教育課からは以上でございます。</p> <p>ただ今、説明のありました議案第5号につきまして、県の基準に合わせるというものでございましたが、ご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは議案第5号につきましては、原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第5号 日田市フリースクール利用料補助金交付要綱の一部改正については、原案のとおり可決されました。</p> <p>次に報告事項について説明をお願いします。</p>
<p>学校 教育 課 長</p>	<p>報告第2号 令和7年度12月日田市実施分学力調査結果についてでございます。別冊4の1ページをお願いします。</p> <p>本調査でございますが、本年度は、令和7年12月19日金曜日に実施しました。</p> <p>調査対象学年と受験者数については、御覧の通りでございます。</p> <p>用語の説明の中で、標準スコアという表記がありますが、全国の正答率を50と見たときの日田市の平均正答率の換算値いわゆる偏差値と捉えていただければと思います。</p> <p>2ページをお願いします。調査結果の概要でございます。</p> <p>表の見方についてですが、各学年の上段、R7標準スコアが今年度の結果でございます。その下のR6標準スコアは、同一集団の昨年度の数値となります。</p> <p>従いまして、2年生であればR6標準スコアは1年生のときの標準スコアと捉えていただければよろしいかと思えます。</p> <p>小学校1年生につきましては、昨年度は入学前ですので、R6標準スコアはございません。</p> <p>また、4年生につきましては、3年生まで国語と算数のみの受</p>

験となりますので、社会と理科の前年度の数値はございません。

色付きの部分が全国値以上、いわゆる偏差値50以上となっております。

この表では比較ができませんが、偏差値50以上という観点で見た場合、小学校は昨年度18分の13教科に対し、今年度は18分の8教科。中学校は、昨年度10分の4教科に対し、今年度は10分の1教科と、それぞれ減少しております。

これまで学年が上がるにつれて偏差値が下降するという傾向があったのですが、今回は小学校低学年でも偏差値50を下回る結果となったことが大きな特徴となっております。

小学校は4、5年の社会でも、課題が見られる結果となりました。小学校の算数については、高学年がこれまでも偏差値50を上回っております。

これは算数の教科担任制の導入や、算数を研究指定にして学校全体で力点を置いて指導を行った結果ととらえています。

これが中学校数学でも、1年生時点で50を維持できていること、つまり小中の連続した学びに繋がっていると感じています。

中学校の英語については、今年度も課題が見られましたが、昨年度から改善が見られています。

3ページ4ページにつきましては、同一集団の経年比較となっておりますので、御参考にしていただければと思います。

5ページをお願いします。結果と分析でございます。

細かな分析は省略をいたしますが、比較的授業の中で練習問題、いわゆる習熟の時間が設定され、家庭学習等で繰り返し定着を図ることができている算数を除き、小・中とも、知識技能といった基礎基本の定着が不十分であるという結果でした。

これは、働き方改革の推進のため、各学校がこれまで取り組んでいた短時間の朝の活動や、帯の時間を活用した補充学習が少なくなっていることが1つの要因ととらえています。

特に小学校2、3年生には補充の時間が少なくなったことは、大きく影響していると考えています。

中学校でも、大規模校ほど定着状況に課題が見られたことから、やはり定着状況に差がある児童生徒に対して、いかに個別の指導、定着させるための指導を行うかが大きな課題であると捉えています。

中学校の英語については、まだまだ低い状況ですが、学習内容が難しくなった2年生で1年時よりも改善されたことから、今年度当初に行った英語教諭を対象とした授業研究、モデルとなる授業研究や、小学校英語担当者と中学校英語教員が参加した協議会

の設定等により各学校で授業改善が進んだ結果ととらえています。

6ページをお願いします。まず上段の質問調査をご覧ください。

昨年度から、数値では測れない学力も授業改善の成果と捉え、児童生徒の「学習が好き」、「授業が分かる」という学びに向かう姿の変容を見ることを各学校に提案しました。

4月に実施した全国調査、大分県調査に同様の質問があったことから、1月の状況を集計したところ、特に小5の愛好度、それから中2の愛好度が全体で大きな改善が見られました。

これは学校の授業改善の努力の成果であると捉えており、点数や偏差値などの数値だけではなく、各教科の愛好度と理解度のデータも含めて分析を行い、今後の具体的な改善策を作成するよう指導助言したところでございます。

これらを踏まえた今後の取り組みについては、大きく2つあります。

1つは中長期的な授業改善の取り組みです。

一番最後の別紙をご覧ください。横向きの資料です。

現在、日田市教委及び学校は働き方改革と学力向上に向けて取り組んでいます。

働き方改革についてはこれまで報告してきました通り、学校の工夫もあり、時間外在校等時間は減少するとともに、先生方の、いわゆる心の病による休業、これも減少し、児童生徒の不登校の数も、現時点では増加をしていない状況であり、働き方改革は着実に進んでいるという認識です。

働き方改革に係る学校の工夫の大きな取り組みの1つとして、学校の日程の工夫があります。

具体的には、これまでドリル等を行ってきた帯の時間や、朝の時間を削減し、児童生徒の下校時刻を早める取り組みで、これにより、勤務時間内に業務ができる時間の確保に繋がっています。

学力向上について、本調査結果から見ますと、学習の愛好度は、先ほど報告いたしました通り、改善しているという成果があった一方で、本調査において偏差値が過去、特にこれまでとの大きな変化として、小学校低学年に全国平均を下回る傾向が見られました。

これは、帯の時間や朝の活動の削減により、学習内容を定着させる時間が十分に確保できなかったことが要因と捉えています。

個別に対応が難しいと思われる、大規模中学校の定着状況等の状況も考えていくと、学習内容を定着のための時間というものは

<p>教 育 長</p> <p>山 崎 委 員</p>	<p>やはり、必要になってくるものと捉えています。</p> <p>従って現在、大きな課題として、この働き方改革と教育の質の担保をどう両立させていくのかというのが大きな課題と捉えております。</p> <p>加えて日田市の特徴としまして、毎年、教員が大きく入れ替わるため、個人のノウハウ、力量に頼った取り組みではなく、学校ごとに児童生徒の実態をふまえた、学習内容を定着させるための組織的な仕組みづくりが必要となります。</p> <p>働き方改革の取り組みを推進する一方で、児童生徒に力をつけるための時間をどう保障するのか。</p> <p>例えば、特設した補充の時間などの授業外で行うのか。</p> <p>或いは、45分のうち40分間を授業とし、残りの5分間は定着のための時間を設定するなどの授業内で行うのか等について、学校の中でも協議し、それらの取り組みを個で行うのではなく、組織全体で行うよう、学校には指導助言しているところです。</p> <p>今後の取り組みの2つ目、短期的な補充の取り組みです。</p> <p>今回の調査で明らかになった課題については、業者が提供しているソフトを利用することで、それぞれが本調査で苦手としている内容を中心に学習することが可能となりますことから、短期間ですが、ICT機器を活用して、効率よく補充学習を進めることとしております。報告については以上でございます。</p> <p>ただ今の報告第2号につきまして、何かご質疑等はございませんでしょうか。</p> <p>他の市町村もおそらく同じ状況に直面していると思うのですが、参考資料として、例えば他の市町村がどのようにされているのかということ調べるのも一つかもしれません。</p> <p>ただし、学校教育課長がおっしゃったように教員の定着ですが、これも課題なのかもしれません。何か総合的なものがあるだろうと思いますが、早く手を打たないとこのままでは、ちょっと言葉が悪いのですが、ガラガラズルズルとなってしまいますので。私は先ほど申しましたように個人的には、学力習得、定着を、何かうまくいい点を見つけて、手を打つことが大事になるかなと思いつつ意見を聞いておりました。</p> <p>繰り返しになりますが、別に日田の子どもは能力がないということはないと思うのです。能力という言葉は難しいのですが、能力がないとは全然思わないです。</p> <p>何か早く良い手を打っていただきたいです。</p>
-----------------------------	--

<p>学校教育課長</p>	<p>昨年度と今年度、県内で学力定着状況が良好な市町村をお願いをして、学校や市の教育委員会の取り組み等を参考に聞かせていただきたいということで、行ってきたところでございます。</p> <p>結論としましては、やはり訪問させていただいた学校は、子どもと先生が、学びに向かっているという状況であったというのは、非常に素晴らしい環境づくりができていているというところがありました。</p> <p>そして、市教委を訪ねたときに、そこでの特徴的な言葉は、この中にも書いておりましたが、ある市町村が経験を積んだ教職員の異動が少ないので、安定した指導がずっと継続できているというようなことをおっしゃっていたのが、大きな違いの1つかなと感じたところであります。</p> <p>ただし、それだけが問題ではないと思っておりますが、何も出来ないとかではなく、やはり日田市として、今の状況を踏まえて、教員の入れ替わりが多い中でも、何か手を打つ必要があるということで、日田市で今取り組んでいるのは、A Iドリルは積極的に使っていかねばいけない。</p> <p>ここは、個別対応の時間がなかなか取れなくても、これを使うことで、その時間を有効に、効果的にやっていくことができること。これがまだ十分に徹底できてないと反省しております。委員がおっしゃるように、市の1つの方向性としても、早く手を打っていくことが必要だと感じているところであります。</p> <p>まずは、個別の時間の確保を、どのように行っていくのか。ここが喫緊の課題と捉えているところです。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>教員の異動は、これはなかなか難しいものです。</p> <p>実際、日田高校から入学した大分大学卒業生でも、そのまま日田に帰らず、大分市に定着している人が結構います。これをどのように考えるか。いろいろ問題はあると思いますが、そういうことは別にして、やはり日田高校からたくさん大学に行って、教員になる学生を増やすためには、日田高校のレベルも上げなくてはならないですし、日田高校のレベルを上げるためには、やはり小中学校から、それに対応できるだけの子どもたちを育てなくてはなりません。</p> <p>やはり、よく言いますけど咸宜園、廣瀬淡窓、文化都市。日田のことは、私はいつも思うのですが、そういう面でも子どもたちは、雰囲気的には非常に恵まれていると思うので、それを何とか上手く引き出す妙案があればよいのですが。何かあるかと聞かれるとなかなか結びつかないのです。</p>

<p>木 下 委 員</p>	<p>端的に言えば、おそらく勉強量の不足だろうと私自身は思うので、これをどうやって増やしていくか。学校だけではなく、家庭の問題も絡んできます。そのような意味での総合的なものだろうと思うのです。結論としては、何か早く手を打ちたいですね。</p> <p>7ページの説明を受けまして、働き方改革が、学力低下の要因となっているというふうに捉えられるわけですけども。</p> <p>国は、働き方改革と学力低下の因果関係といったものを、どのように分析しているのかということ。次に、今後は個別の学習時間の確保が課題という説明がありましたけども、スクールサポートスタッフを、AIドリル等と同様に活用してはどうでしょうか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>まず国が働き方改革の推進と学力調査結果について、どのように結びつけているかということにつきましては、私の知りうるところでは明確な比較、相関関係を示した資料について把握しておりません。</p> <p>ただし、働き方改革は、やはり進めなければいけないという方針は間違いないものです。</p> <p>スクールサポートスタッフについては、この件の次に出てきますけれども、現在は4名を配置しております。</p> <p>スクールサポートスタッフは、授業準備やテストの丸付けなど、子どもに直接関わる業務ではないため、教員がそのような業務をスクールサポートスタッフに任せることで、子どもと接する時間、関わる時間ができることは、1つの大きな成果になっておりますので、今後もスクールサポートスタッフを活用しながら、子どもに関わる時間を増やしていくという事は、継続して参りたいと思っております。</p>
<p>佐 々 木 委 員</p>	<p>前の調査で、日田の子どもたちの睡眠時間と、ゲームをやっている時間が他市に比べて長いという調査結果があったように記憶しています。ということは家庭での学習時間が、やはり他市に比べて若干少ないというようなことがあったと思います。そのようなことも、家庭での学習を考えると、保護者の意識を変えていかないと、なかなかすべてが学校任せというのでは、追い付いていかないのではと思います。</p> <p>日田高校も、学力の低下には課題を持っているようで、推薦入試等含めまして、そういうことを考えているみたいです。高校の方もやはり小中学校と連携していかないと、このまま学力が低下</p>

<p>教 育 長</p>	<p>していくのではないかとこの心配を校長先生がしていました。</p> <p>家庭との連携は本当に不可欠だと思っております。ですから、やはりこの結果を各学校も、学校運営協議会、学力向上会議でもオープンにし、そして一緒に考えていくということは、必須になるかと思えます。</p> <p>早速今日から各学校の学力向上会議というのが始まっております。この調査結果も皆さんに提示をしながら、今後どのようなことに取り組んでいくのか、どんな課題があるのか、家庭で、地域で、どんなことができるのかというような話がなされていく会議でございます。</p> <p>そこにも、市教委の指導主事が全員参加しまして、必ずその会議に1人が参加して、今のようなお話を、家庭でもできること、家庭学習の必要性であるとか、そういったものは、市教委として伝えていく取組は行っているところでございます。</p> <p>この後の体力の報告でも出てきますが、やはり睡眠時間やメディアの時間等は、多い状況であるかなというふうに思っておりますので、家庭との連携は、いろんな面で必要になってくると考えております。</p>
<p>古 田 委 員</p>	<p>私も、佐々木委員と同じように、学校の先生は本当に一生懸命に、限られた時間の中で色々な業務に携わっていると思えます。</p> <p>子どもたちは、家に帰って、そうやってゲームをして、睡眠時間が短くなると、また次の日ゼロから始まる授業となってしまうので、家庭との連携というのが大切だと思いました。</p> <p>また、クラスが落ち着いてないと、勉強したくても、それができないという悩みもあると思えます。動き回る子どもたちと、本当に勉強がしたい子どもたちとが同じクラスに居るのがどうか。そのようなこともあるかもしれません。子どもたちが小学校の時は、ランドセルが重くなるから、教材を全部学校に置いていいよと。しかし、教科書だけでも読みなさいと言った時に、全部学校にあると言われていたので、そういう子どもの意識がそもそもだと思えるのですけれど、それを学校の環境で変えていけないかなというのは、いつも思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>先ほど山崎委員から言われた総合的にというところで我々捉えようとしていますが、その総合も、やはりいくつかの柱を持ってないと、ぼやけてくるかもしれません。</p> <p>この2年間、学びに向かう学校と、安全で安心な学校の中で、</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>生活と学習が双方向に上手く絡み合っていけばいいかなということ、確かに愛好度については随分と向上していることが数字で表れているので、学校も努力はしているのだろうと思います。</p> <p>問題は先ほどからあったように、習得のサイクルや、先生方の問題も含めて、総合的に決めないといけない。柱をしっかり持ってやりたいと思います。</p> <p>続きまして報告第3号の説明をお願いします。</p> <p>報告第3号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査についてでございます。</p> <p>別冊5の1ページをお願いいたします。</p> <p>まず調査の概要です。調査の目的は、国が体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図る、各教育委員会が子どもの体力向上に関する継続的な検証、改善サイクルを確立する、各学校が学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てるとなっております。</p> <p>調査の実施期間は、令和7年4月から7月まで、調査対象は小学校5年男女、中学校2年男女になります。</p> <p>本市におきましては、小学校5年男子が264人、女子が234人。中学校2年男子が268人、2年女子が258人となっております。</p> <p>調査内容は、体力・運動能力に関する調査項目と、運動習慣等に関する項目がございます。</p> <p>体力・運動能力につきましては、全身持久力を測る20mシャトルランや瞬発力を測定する50m走など、実技に関する項目が8項目と、それを合計点とする体力の総合評価があります。</p> <p>2の用語の解説としまして「T得点」という用語が出てきますが、これは全国平均値に対する総体的な位置を示す得点であり、全国平均と同等の場合を50点とします。</p> <p>2ページをお願いします。具体的な結果について説明を申し上げます。まず、小学校5年生男子です。上段の表は、それぞれの種目ごとの結果を表しており、通常の白い枠は全国を上回っているもの、太枠は県・全国どちらも上回っているもの、網掛けは県・全国ともに下回っているものです。小学校5年生男子については、全国を上回る項目が多い傾向であると見ることができます。</p> <p>左下の種目別レーダーチャートにつきましては、上段の表をレーダーチャートにしたものです。全国平均を50とした場合に正八角形となり、日田市のT得点は黒字の太線で表しております。</p>
---------------	--

す。全国平均を超えれば外向きが良好な結果、内側になれば課題となっておりま。正八角形に近いほど、バランスの取れた運動能力を有していると見ることができます。

小学校5年生男子につきましては、全国とほぼ同程度の八角形となっておりま。

右下の体力合計点につきましては、全国トップレベルにある大分県平均を下回りますが、全国平均は上回っているという見方になります。

3ページをお願いします。続いて小学校5年女子です。

同様の見方をすると、非常に良好な状況となっておりま。

続きまして、4ページをお願いします。

中学校2年生の男子です。

5種目が全国平均以上、体力合計点につきましては、これも全国平均並みとなっておりま。

続いて5ページ、中学校2年生女子です。

全国・県の両方を下回る種目が7種目となり、課題が見られました。

ただし、右下の体力合計点で見れば、全国の50.0と比較した場合、49.7と、大きな差ではございませんでした。

6ページには、運動能力総合評価ということで、運動能力評価がC以上の市の割合が全国を上回るものを太枠で示しております。

例えば、小学校5年生男子です。全国のA、B、Cを足すと65.8%になりますが、日田市のA、B、Cを足すと66.7%となります。C以上というと、あまりよろしくない印象ですが、ここで言うCは、本調査における真ん中あたりを示しているため、中2女子はわずかに下回っていますが、全体的に良好な結果となりました。

体力や運動能力を支える運動習慣につきましては、7ページを御覧ください。太枠は県・全国より高い項目、網掛けは県・全国よりも低い項目です。

まず上段の小学校5年生です。運動能力調査では男女とも良好な結果でしたが、運動・生活習慣では網掛けが目立ちました。

運動への意欲等については、下回っている割合はわずかな差がありますが、「朝食を毎日食べる」、「メディア等の視聴時間」という生活習慣に関する項目で、県や全国と比較して割合の開きが大きいという結果でした。

下段の中学校2年生につきましては、運動能力調査で課題が見られた女子ですが、運動への意欲面で太枠、つまり全国も県も上

	<p>回るといふ結果が見られたこと、体育の授業への意欲面が高いことから、運動に対する意識や運動を楽しむ生徒の育成はできていると考えています。</p> <p>課題は男女とも共通で、小学校同様、生活習慣についてです。やはりメディアの視聴時間は全国や県と大きな開きがあります。</p> <p>メディアの時間の多さが、睡眠時間の減少や学習時間・運動に親しむ時間の減少にも繋がっていると考えられることから、先ほどの学力でも申し上げましたが、ここは家庭と連携が必要な日田市の大きな課題の一つと捉えています。</p> <p>8ページ以降については別紙、カラーの横の資料でご説明を申し上げます。</p> <p>体力、運動能力、総合評価C以上の割合は全国越えですが、中学校2年生女子の体力低下が課題となっております。</p> <p>右側の方ですが、運動・生活習慣の現状と課題としては、メディア視聴時間の抑制、それから朝食摂取率等の低下が課題として捉えられます。</p> <p>今後の対策としましては、市教委としましては、校長会や体育主任会において、重点項目の設定や提示をすること、それから研究指定校の成果を周知して、全体的に体力向上を図ってまいります。</p> <p>また、学校においては、運動の楽しさや喜びを味あわせ、運動への愛好度を向上させる取組の推進に継続して取り組んでいきます。生活習慣、メディアやディスプレイを見るようなスクリーンタイム、それから睡眠時間の改善については、家庭における学習時間の向上とあわせて、家庭・地域と連携して取り組んでいく必要があると考えていますことから、指導主事が参加しております学力向上会議の中でも、引き続き呼びかけてまいります。</p> <p>報告は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>それではただいまの報告につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。</p>
古 田 委 員	<p>旧郡部のスクールバスで通学している子どもについては、それが体力低下のきっかけになったりしているということでしょうか。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>委員がおっしゃる部分につきましては、スクールバス利用が始まった時から話題になっていたことであります。</p>

	<p>これが体力低下に繋がっているのかということで、明らかな相関関係は見られなかったのですが、スクールバスを利用する学校ほど、いわゆる体力づくりには重点的に1校1実践で、カバーするための取組が行われております。そのような取組が大きな差を生まない部分になっているものと認識しております。</p>
佐々木委員	<p>全国的にみて、大分県の数字が高いのは、何か理由があるのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>全国でもトップの大分県です。体力については、県教委が示す1校1実践の取組で、各学校がその学校独自の課題を基にして設定し、功を奏しているということ。体育の専科教員を配置して、体育の授業の質の向上に取り組んでいることが要因だと思われます。</p>
教 育 長	<p>各学校がこの全国調査で弱い項目などに力を入れるような1校1実践の活動を、きちんと取り組んできたことも大きな要因だと思いますし、県の取組の徹底度合いが大きく関係していると思いますね。</p> <p>学力にも、気力体力が大いに関係があるかと思しますので、どちらが良いではなく、やはり両方が平均して良くなっていくことが良いことだと思います。</p> <p>それでは、ここからは、非公開の審議に移りたいと思います。まず議案第2号について、説明をお願いします。</p>
教育総務課	<p>教育総務課でございます。</p> <p>議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>議案第2号 日田市教育委員会の委員の定数に関する条例の廃止についてでございます。</p> <p>本議案は日田市教育委員会の委員の定数を見直し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条に規定する4人に改めるため、委員を6人と定めている現行の条例を廃止するものでございます。</p> <p>2ページの概要でご説明をさせていただきます。</p> <p>教育委員会の定数は、原則的には、概要2の根拠法令に記載の通り、法律に規定された4人でございます。</p> <p>ただし、同条但し書きの規定に基づき、市の条例で定めることで、5人以上の委員をもって組織することができることとされ、</p>

	<p>そのため本市においては、今回廃止議案をあげている日田市教育委員会の委員の定数に関する条例によりまして、委員の定数を現在6人としているところでございます。</p> <p>この定数条例につきましては、3の(1)でございますが、教育委員会委員長と教育長を一本化し、新たな教育長の設置等を目的とした法律の改正に合わせまして、平成27年に教育委員からの意見などを踏まえまして、民意を教育行政に一層反映することを目的に、2人増員して6人とする条例を制定したものでございます。</p> <p>(2)の見直しの理由でございますが、増員後10年が経過する中、人口減少や他市教育委員会の状況、また令和7年3月議会において可決された「日田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」に基づいて、令和7年4月から、スポーツ、文化及び文化財に関する事務が市長部局へ移管されたことも踏まえまして、民意を反映させながらも、法規定の委員数で教育委員会の運営が可能であると判断したものでございます。</p> <p>施行期日は令和8年4月1日からでございます。</p> <p>4番は、これまでの委員定数の推移で、5番が現在の教育委員の状況でございます。</p> <p>皆様ご承知の通り、任期中の方が4人、欠員が今現在2名でございます。</p> <p>6番は、県内及び全国の教育委員会の定数の状況でございますが、県内でも多くの市町村が、教育長及び教育委員を合わせて5人の体制をとっておりまして、全国的にも、5人制の市町村が多いという状況でございます。</p> <p>私からの説明は以上でございますが、本議案は3月議会の審議案件でございますので、教育委員の皆様のお考え等も、是非お聞かせいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
教 育 長	ただいま説明のありました議案第2号につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。
山 崎 委 員	議案の中身のことでありませんが、この議案は3月の市議会に提出する案件でよろしいですか。
教 育 総 務 課 長	3月議会に提案予定でございます。
教 育 長	事務局から、皆様のご意見もいただきましたとのことですが、何

山 崎 委 員	<p>かございませんか。</p> <p>私は、効率的な運営ができて良いと思います。</p>
古 田 委 員	<p>委員の皆さんがいろいろな意見を出しているので、問題ないと思います。</p>
教 育 長	<p>それでは議案第2号につきまして、原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第2号 日田市教育委員会の委員の定数に関する条例の廃止については原案の通り可決されました。</p> <p>次に、議案第3号について、各課ごとに説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>議案第3号 令和7年度日田市一般会計補正予算教育費についてでございます。</p> <p>議案集の4ページでございますが、令和7年度の補正予算を要求するもので、年度末を迎えて各事業に要しました費用の確定及び決算見込みによる整理が主な内容でございます。</p> <p>内容につきましては、別冊1の資料によりまして説明をさせていただきます。まず別冊1の1ページでございます。</p> <p>No.1の校務用コンピュータ管理運営事業でございます。</p> <p>本事業は、学校の教職員が校務で使用しているパソコンのシステム管理等を行うものでございますが、使用しているシステムにおいて、ユーザーがログインする際のライセンス認証方式が変更することに伴い、サーバの設定変更が必要になったことから、サーバ構築業務に係る委託料の増額補正を要求するものでございます。</p> <p>これまではライセンス購入時及び更新時に、利用者IDを手作業でシステム側のライセンスサーバに登録した後、発行されたライセンスキーを日田市サーバに取り込み、その取り込んだライセンスキーを基に認証を行うファイルアップロード形式と呼ばれるものでございましたが、変更後は、日田市サーバとライセンスサーバが、その都度インターネットを通じてリアルタイムに通信し、認証を行う、インターネット形式となるものでございます。</p> <p>右上の事業スケジュールに記載しておりますが、昨年11月末に対応期限を令和8年4月14日とする認証方式変更の通知がございまして、その後、保守会社と協議をいたしました。認証方式の変更に伴い、サーバの更新が必要であるという判断に至りました。</p>

対応期限である4月14日を考えますと、3月下旬から4月上旬は学校にとっては異動や学期末、学期始めと重なりまして、サーバの更新作業は難しいということがあり、やむを得ず補正前に流用により対応し、2月20日には更新作業を終える予定でございます。補正内訳は、委託料が279万8,000円でございます。

次に、No.2のICT教育環境整備事業でございます。

令和7年度中に、児童生徒用タブレット端末について、大分県が実施する共同調達によって更新を行いました。入札の結果、不用額が生じたこと、また、市で行ったフィルタリングソフト等使用料につきましても、入札の結果不用額が生じたことから減額補正を行うものでございます。補正内訳は、合わせて356万5,000円の減額でございます。

続いて、2ページ、No.3の学校施設整備基金管理費でございます。こちらは国庫補助を受けて建設した学校施設の財産処分に伴う基金の積み立ての事業でございます。

旧夜明小学校の令和7年4月から令和9年3月までの有償貸付について、旧夜明小学校は現在、夜明振興センターとなっておりますが、その2階を民間の保育園に貸し出しているものでございます。こちらの有償貸付にあたりまして、文部科学省から通知のあった額を基金に積み立てるものでございます。補正額は、積立金が23万2,000円の増額で、利子収入が2万1,000円の減、一般財源が25万3,000円の増でございます。

次にNo.4の小中学校防犯対策強化事業でございます。

学校における防犯カメラの設置工事について、入札の結果、不用額が生じたことから、減額補正をするとともに、財源につきまして、交付税措置率が高い学校教育施設等整備事業債に財源振り替えをお願いするものでございます。補正内訳は、工事費が558万5,000円の減額で、財源内訳は記載の通りでございます。

続いて3ページ、No.5の学校施設設備更新事業でございます。令和7年度に日隈小学校の施設設備の更新を行う予定でしたが、このうち空調設備工事と多目的トイレ新設工事につきましては、入札等により不用額が生じたため、減額補正を行い、また施設設備更新のうち、トイレ洋式化と照明LED化工事につきましては、国の補助金の事業採択が遅れておりまして、先月の1月23日に交付決定がようやくおりたところでございますが、本年度中の完了が難しいため、繰り越しの設定を行うものでございます。事業スケジュールに記載の通り、このトイレ洋式化

と照明LED化につきましては、来年3月までの工事を予定しており、補正内訳は、工事請負費が1,624万5,000円の減額。財源内訳は、学校施設環境改善交付金と過疎対策事業債の減、一般財源の増でございます。

次にNo.6の小学校施設整備推進事業でございます。

小学校施設の大規模改修等を行う事業でございますが、先ほどの日隈小学校と同様に、国の補助金である学校施設環境改善交付金の事業採択が遅れていたものでございます。

日隈小学校と同様に、本年1月23日に交付決定を受けたところでございますが、事業内容や実施時期を見直す必要が生じたことから、今年度につきましては減額補正を行うとともに、設定している継続費につきましても変更を行うものでございます。

石井小学校の大規模改修工事につきましては、令和9年度までの実施を予定しております。補正内訳は、朝日小学校の改修実施設計委託料1,250万円の減額、石井小学校の大規模改修工事に係る工事費が、2億4,862万7,000円の減額、合計2億6,112万7,000円の減額でございます。

財源内訳につきましては、記載の通りでございます。

次に、4ページ、No.7の中学校施設整備推進事業でございます。先ほどのNo.6での説明と同様に、南部中学校の大規模改修工事につきましても、国の交付金の事業採択が遅れておりましたが、1月23日に交付決定を受けたところでございます。しかし、こちらも実施時期を見直す必要が生じたことから減額補正を行うとともに、設定している継続費についても変更を行うものでございます。

南部中学校の大規模改修工事につきましては、令和9年度までの実施を予定しております。補正の内訳は、南部中学校の大規模改修工事に係る工事請負費が、3億267万3,000円の減額でございます。

続いて資料6ページをお願いいたします。

6ページと7ページは、先程、継続費の設定を変更するという話をした、石井小学校と南部中学校の大規模改修についてでございます。

6ページ石井小学校大規模改修の上段の補正前では、7年度、8年度となっております。7年、8年度で事業を実施する予定でございましたが、国の交付金の交付決定が遅れましたことから、一番下の列の補正後のように、7年、8年、9年度の3ヶ年に継続費を変更するものです。

次の7ページの南部中学校につきましても、同様に7年、8年

<p>教 育 長</p>	<p>度の継続費だったものを、7年、8年、9年度の3ヶ年に継続費を変更するものでございます。</p> <p>続きまして、8ページが、先ほどご説明いたしました、日隈小学校のトイレ洋式化、照明LED化につきまして、今年度の事業完成が難しいことから、繰り越しの設定をさせていただき繰越明許費の補正でございます。教育総務課は以上でございます。</p> <p>ただいまの教育総務課の説明に対しましてのご質疑等はございませんでしょうか。</p> <p>なければ次に、学校教育課からお願いします。</p>
<p>学 校 教 育 課</p>	<p>学校教育課でございます。5ページをお願いいたします。</p> <p>No.8の複式学級解消教員の市費配置事業でございます。</p> <p>本事業は、少子化により大分県の基準より複式学級となった学級に対して、市費雇用教員の配置を行い、教育の機会均等や教育効果の向上を図ることを目的としております。</p> <p>今回の補正では、令和7年度当初の配置予定人数は5校7名でしたが、児童数の変動により1名分の配置が不要となったことから、707万8,000円の減額補正をお願いするものでございます。財源につきましては、全て一般財源でございます。</p> <p>続いてNo.9の中学校部活動送迎事業費でございます。</p> <p>本事業は、中学校部活動の中体連主催の公式試合等への参加に係る生徒輸送について、安全確保を図るものです。</p> <p>今回の補正予算では、中体連主催の公式試合と公費負担を行う各大会が終了したことにより、事業費が確定したため、不要となった198万9,000円の減額の減額補正をお願いするものでございます。財源につきましては、全て一般財源でございます。以上となります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、今の学校教育課の説明に対しましてのご質疑をお願いいたします。</p>
<p>山 崎 委 員</p>	<p>No.8の事業について、津江小学校は児童が増えたから加配があったのだと理解してよいのでしょうか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>津江小学校は、小学校2年生が1名在籍していたところ、転出により、2年生が欠学年となりました。</p> <p>つまり欠学年となったことで、本来なら複式学級となる予定だったのですが、県の基準で、2年生を含む、飛び複いわゆる、</p>

<p>教 育 長</p>	<p>飛んだ学年の複式学級の編制は行わないという方針があります。そういった関係で複式学級が解消されて、県からの配置が1人増えたことで、市雇用が1人不要となったものです。</p> <p>それでは、議案第3号につきましては原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第3号 令和7年度日田市一般会計補正予算教育費については原案の通り可決されました。</p> <p>次に、議案第4号について、各課ごとに説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>議案第4号 令和8年度日田市一般会計予算教育費についてでございます。議案集は5ページでございます。</p> <p>令和8年度の教育費に関する当初予算を要求するもので、内容の説明は、別冊2及び別冊3の資料で行わせていただきます。</p> <p>まず、別冊2の1ページをお願いいたします。</p> <p>教育費歳出予算の総括表でございます。</p> <p>この総括表は、教育費の予算額、増減、主な事業等の全体的な概要を示すものでございます。左から5列目、令和8年予算要求額の欄ですが、令和8年度の教育費全体の予算総額は、46億2,275万5,000円でございます。</p> <p>なお、この教育費につきましては、令和7年度より、教育委員会所管と、文化スポーツ観光部所管の予算に分かれておりまして、それぞれの予算額と、増減につきましてはこの表の一番下、3ページに記載をしております。3ページ中段でございますが、教育委員会所管の令和8年度予算総額は、40億2,518万9,000円、その右側の令和7年度当初予算額と比較いたしますと、1億411万7,000円の増額となっております。</p> <p>それから、この表の右から2番目の列には、区分ごとの主な事業と予算額を記載しておりまして、事業名のうち、頭にナンバを付している事業は、この後説明いたします事業概要と同じ番号でございます。</p> <p>また、下線を引いているものは新規事業でございます。</p> <p>一番右の列には昨年度と比較して、増減の大きかった事業について、令和7年度予算額と、括弧内にはその増減額とともに記載しておりまして、こちらの一番右の列の下線につきましては、廃止した事業や、隔年実施の事業でございます。</p> <p>一例を申しますと、10款1項教育総務費の3目教育振興費の中では、新規事業として、教育環境整備事業が挙げられ、また昨年度と比較したところでは、右側の小中学校防犯対策強化事業</p>

が、令和7年度で終了したということになっております。

令和7年度と令和8年度を比較いたしましたして、特に増減の大きかった事業を区分ごとに申し上げますと、10款1項の教育総務費では、上から2番目の小中学校防犯対策事業、小中学校机・椅子更新事業の減額、学校施設設備更新事業の増額。

小学校費と中学校費では、それぞれ施設整備推進事業の減額が挙げられます。

また、2ページ目の社会教育費では、職員人件費や地区公民館運営委託事業が増額、地区公民館管理費が減額。

また3ページの保健体育費におきましては、上から3番目の学校給食センター大規模設備更新事業、学校給食運営事業がそれぞれ増額していることが挙げられます。

総括資料の次の4ページから39ページまでは、歳出及び歳入の詳細な予算書となります。

時間の都合上すべてを説明することはできませんので、この予算書のうち、主な事業の概要について別冊3により説明をさせていただきますと思います。

1ページ、No.1のICT教育環境整備事業でございます。

本事業は、ICTによる教育環境の整備推進のため、国のGIGAスクール構想に基づき整備したタブレット端末等の維持管理を行うとともに、計画的な機器の更新、ネットワーク環境の適切な管理を行うものでございます。

主な事業概要としまして、①から⑧までを記載しておりますが、このうち、大きいもので言えば、③無線LAN環境運用支援委託料につきましては、タブレット端末のネットワーク環境について、アクセスポイントのアップデートや通信状況調査など、安定的な通信を行うための委託料でございます。⑤タブレット端末等借上料につきましては、本年2月に更新したGIGA2期の児童生徒用タブレットや、教員用タブレットのリース料となります。また、⑧情報機器購入費につきましては、耐用年数を迎えておりますアクセスポイントを計画的に更新するもので、令和8年度は、小学校2校、中学校1校、小中一貫校2校分の105台の購入を予定しているところでございます。事業費につきましては予算内訳の通り、合計で7,658万2,000円でございます。

次にNo.2の小中学校机・椅子更新事業でございます。

本事業は、小中学校で使用している児童生徒用の木製の机・椅子を、新しいものに更新するものでございます。

事業スケジュールでございますが、令和7年度までに小学校分の更新を終えましたので、令和8年度は、中学校3年生分、9年

度と10年度に、それぞれ中学校2年生、1年生分を更新する計画としております。

事業費は1セット当たり税込み4万9,500円で、637セットを購入予定としております。合計で備品購入費が3,153万2,000円でございます。財源につきましては、一般財源のほか、森林環境譲与税基金繰入金として、机・椅子の木部にかかる費用を充当しております。

続いて2ページ、No.3の学校施設設備更新事業でございます。本事業は、小中学校の普通教室の空調設備の更新に合わせ、未設置の特別教室に空調設備を新設するほか、教室等の照明のLED化、トイレの洋式化、さらには、屋内運動場の空調設備の設置を計画的に行っていく事業でございます。

令和8年度は、トイレの洋式化を行うための4校分の実施設計と、高瀬小及び三隈中の設備改修を行うこととしております。

また、最後の※印のところでございますが、屋内運動場の空調設備工事につきましては、昨年12月議会で議決した実施設計が完了した後、本年9月以降に計上したいと考えております。事業費は、合計1億6,423万円で、財源につきましては記載の通りでございます。

次にNo.4の教育環境整備事業でございます。こちらは令和8年度からの新規事業となります。

本市では少子化により、複式学級の対象となる小学校や、1学年が10人未満の中学校などの小規模校が生じております。

子どもたちの学びにとって、どのような教育環境が望ましいのか、学識経験者等で構成する日田市立小中学校教育環境整備検討委員会を新たに設置しまして、小中学校の適正規模等の教育環境について検討を行うものでございます。

スケジュールといたしましては、本年10月に第1回の会議を開催予定としておりまして、令和9年度中には答申をいただきたいと計画しております。

委員につきましては、学識経験者などの有識者や小中学校長など11人を予定しているところでございます。事業費は、報償費、旅費等で22万4,000円でございます。

次に、3ページをお願いします。No.5の小学校施設整備推進事業でございます。本事業は学校生活における児童の安全・安心して充実した教育環境を確保するため、施設の長寿命化を基本とした大規模改修等を行うもので、令和8年度は、有田小学校プール改築の実実施設計、咸宜小学校外壁の木部塗装、日隈小学校の外構整備、継続費を設定している石井小学校教室棟の大規模改修工

	<p>事を予定しております。事業費は、合計3億81万5,000円で、財源につきましては、記載の通りでございます。</p> <p>4ページから7ページには、有田小、咸宜小、日隈小、石井小学校の施設配置図を掲載しております、いずれも赤書き部分が工事予定箇所でございます。</p> <p>次に、8ページ、No.6の中学校施設整備推進事業でございます。</p> <p>本事業は先ほどの小学校と同様に、長寿命化を基本とした大規模改修等を行うものです。</p> <p>令和8年度は東部中学校の屋内運動場の大規模改修に伴う実施設計と、継続費を設定しております南部中学校管理教室棟の大規模改修工事を予定しているところでございます。</p> <p>なお、東部中学校の体育館の実施設計につきましては、体育館の空調設備の設置についても含んでいるところでございます。</p> <p>事業費は合計で3億1,597万8,000円でございます。</p> <p>9ページと10ページには、それぞれ東部中学校と南部中学校の施設配置図を掲載しており、赤書き部分が工事箇所となります。私からは、以上でございます。</p>
教 育 長	<p>それでは教育総務課の説明につきまして、ご質疑等はございませんか。</p>
古 田 委 員	<p>No.6の東部中学校の屋内運動場大規模改修について、空調設備の工事設計を含むということですが、市内の中学校の全ての体育館には空調設備があるのでしょうか。設備が無いのであれば、今後予定はされているのでしょうか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>中学校の体育館について、空調設備は今のところはありません。空調設備は、12月議会の補正予算で北部中、南部中及び三隈中の設計を出しております。東部中は、この大規模改修があったものですから、ちょっと遅れたものでございます。</p>
古 田 委 員	<p>No.5の小学校施設整備推進事業で、有田小学校のプールの写真がありますが、とても綺麗に見えますが、これでも改築は必要ということでしょうか。加えて、咸宜小学校も外壁はとても綺麗に見えるのですが、木の部分を塗装するということですか。</p>
教 育 総 務 課	<p>有田小学校は、写真の見た目は非常に綺麗ですが、築40年以上のため、実際は塗装が剥げたりして、かなり古くなっている状</p>

<p>教 育 長</p> <p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>況でございます。</p> <p>咸宜小学校については、施設自体は特に問題はないのですが、木部のところはかなり色褪せて汚くなっているので、その辺りの塗装のやり直しというところでございます。</p> <p>次に、学校教育課の説明をお願いします。</p> <p>学校教育課でございます。11ページ、No.7の特別支援教育活動サポート事業についてでございます。本事業は、特別な支援が必要な児童生徒に対し、学習を進めやすくするための助言や注意、励まし等の適切な声掛けを行うことに加え、危険行動や学校外への飛び出しなどの急変にも対応することで、児童生徒の安全確保と学習理解の促進を図ることを目的として、補助職員を配置するものでございます。</p> <p>これまで対象児童生徒の転出入等の関係で、必要性のなくなった学校から必要性が高まった学校への移動を柔軟に行って参りましたが、令和7年度は、さらに予算の範囲内で2学期以降配置の必要性が高まった学校へ、短時間勤務の職員を1名増員するといった対応を行ったことで、配置人数は56名となっております。これらの柔軟な対応とあわせて、現在、特別支援学級等の申請を行っていることから、令和8年度の配置人数は、令和7年度と同様の55名としております。</p> <p>事業費は1億4,556万3,000円で、財源については、水郷ひた応援基金が7,270万円、一般財源が7,286万3,000円でございます。</p> <p>次にNo.8の児童生徒の自立支援事業についてでございます。本事業は、さまざまな問題を抱える児童生徒や保護者等に対する支援や、家庭環境等の改善を図るため、臨床心理士やスクールソーシャルワーカー、心の相談員や登校支援員の配置を行うことに加え、いじめ等の学校問題への支援や、調査委員会の運営を行うものでございます。</p> <p>また、不登校児童生徒が学校以外の場で教育を受ける機会の確保を図るため、フリースクール利用家庭に対し、利用料の補助を行うものでございます。</p> <p>各専門スタッフの配置人数で、昨年度から変更があったものは、令和8年度から新たに小学校に登校支援員を1名増員しました。それから、フリースクール利用料補助割合は、利用料の2分の1としていますが、県内のフリースクール全体の状況を踏まえ、上限を15,000円としました。</p>
---------------------------------	---

事業費は4,570万5,000円で財源については、スクールソーシャルワーカーに係る県の補助金が460万9,000円、登校支援にかかる県の補助金が384万3,000円、フリースクール利用者支援に係る県の補助金が41万4,000円、水郷ひた応援基金が2,000万円、一般財源が1,683万9,000円でございます。

次に、12ページ、No.9のスクールサポートスタッフ配置事業についてでございます。本事業は、教員の負担軽減を図ることで、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、学習プリント等の印刷・配布準備、授業準備の補助、採点業務補助など、教員に代わって行うサポートスタッフを配置するものでございます。令和8年度の配置人数は4名、配置校も昨年と同様でございます。事業費は1,018万8,000円で、財源については県の補助が445万5,000円、一般財源が573万3,000円でございます。

続いてNo.10のICT教育支援事業についてでございます。本事業はすべての教室でICT機器を活用した学習を行い、「児童生徒の学習意欲・情報活用能力」の向上と「わかりやすい授業」を実現することに加え、ICTの効果的な活用により、教職員の負担を軽減するため、授業でのICT機器の活用や、操作支援を行う「ICT支援員」を配置するものでございます。

令和8年度のICT支援員の人数は昨年度と同様に4名で、事業費は1,639万2,000円で、すべて一般財源でございます。

次に、13ページ、No.11の小中学校医療的ケア児支援事業についてでございます。本事業は、小中学校に在籍する医療的ケアが必要な児童生徒に対して、学校に看護師を派遣して医療的ケアを実施することにより、児童生徒の安全な学校生活及び教育活動の確保並びに保護者の負担軽減を図るものでございます。令和8年度の事業費は335万円で、財源は国の補助が111万6,000円、一般財源が223万4,000円でございます。

次に、No.12の小学校確かな学力育成支援事業についてでございます。本事業は、児童の学習意欲及び学力向上を図るため、学力定着のためのAIドリルの購入や、市独自の学力調査を行うものでございます。事業の内容は、児童の学力向上を図るため、日田市独自で全学年を対象とした学力調査の実施、AIドリルの使用料及びテスト等の紙媒体の教材を公費負担するものです。

事業費は2,325万9,000円で、財源については、水郷ひ

<p>教 育 長</p> <p>山 崎 委 員</p>	<p>た応援基金が1,500万円、一般財源が825万9,000円でございます。</p> <p>次に、14ページ、No.13の中学校確かな学力育成支援事業についてでございます。本事業は、生徒の学習意欲及び学力向上を図るため、中学校に関しましては中学1年生と2年生を対象とした、日田市独自の学力調査の実施、AIドリルの使用料及びテスト等の紙媒体の教材を公費負担するものです。事業費は2,271万4,000円で、財源については、水郷ひた応援基金が1,500万円、一般財源が771万4,000円でございます。</p> <p>続いてNo.14の中学生学びアップ事業についてでございます。本事業は中学生の学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着と学習習慣の確立を図るため、中学校1、2年生の希望者を対象として、毎月2回、水曜日の放課後に各学校において、教員OB等の地域人材が指導者となり、数学の教室を開催するものでございます。</p> <p>事業費は353万4,000円で、財源については、県の補助金が163万9,000円、一般財源が189万5,000円でございます。</p> <p>次に、No.15の中学校部活動推進事業でございます。本事業は、中学校における部活動指導体制の充実を推進し、部活動の質的な向上を図り、さらに教員の部活動指導に係る負担を軽減し、働き方改革を進めるため、「部活動指導員」を配置するものでございます。また、部活動の地域移行に向けて「日田市立中学校部活動検討委員会」の開催及び地域展開の検証のための試験的な実施を行うものでございます。</p> <p>令和8年度の部活動指導員については18名で1名増員、地域展開の検証のため、合同活動を実施する際の指導者を9名から11名に増員しています。事業費は970万円で、財源については、中学校部活動指導員活用に係る県の補助金が403万2,000円、地域展開促進に係る県の補助金が120万2,000円、一般財源が446万6,000円でございます。</p> <p>学校教育課からは以上でございます。</p> <p>学校教育課の説明につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>No.9のスクールサポートスタッフ配置事業について、スクールサポートスタッフを児童生徒が500人程度の学校に配置と書いていますが、先ほどの学力の問題に関連して、この配置基準をもう少し下げて他の学校にも配置するという考えはありません</p>
-----------------------------	---

	んか。
学校 教育 課 長	<p>まずスクールサポートスタッフにつきましては、本来の目的が教職員の働き方改革の推進のためのスタッフということでございます。これに関連しますが、日田市は全ての学校に学校連絡員という職員を独自に配置しています。この学校連絡員が、ほぼスクールサポートスタッフと同様の勤務が可能となっております。</p> <p>そこで500人以上の学校には、業務が多いので、プラスアルファという意味合いで配置しております。</p>
山 崎 委 員	<p>No.12とNo.13について、AIドリル及び紙媒体のテストを公費で負担していますが、ご存じのように県がデータベースでこういう問題をいっぱい出されていますが、それらも使われているのですか。日田市は二重でされているという理解でよいでしょうか。</p>
学校 教育 課 長	<p>なかなか結果には反映していないのですが、県教委の調査で見ると、日田市の中学校の先生方は、県が準備した問題データベースのドリルをかなり利用しているという結果が出ています。</p>
山 崎 委 員	<p>県のデータベースもかなり利用されていて、なおかつ日田市の独自のものも利用しているのですね。</p> <p>次に、No.14は数学のみの希望者ですが、教科を広げる可能性は今後ありますか。</p>
学校 教育 課 長	<p>数学から広げていくかという議論は、あるにはありますが、実は指導者の確保が難しいという課題があります。また、現在、数学に絞っているのが、数学は、中学校になって個人差が大きくなっている状況があるからです。加えて、この個別指導により効果が見えやすい教科という観点から数学に絞っております。</p>
教 育 長	<p>次に、社会教育課の説明をお願いします。</p>
社会 教育 課 長	<p>社会教育課でございます。</p> <p>16ページ、No.16の放課後子ども総合プラン事業でございます。本事業につきましては、放課後の子どもの安全で健やかな居場所づくりを進めるために、関係団体が連携・協働し、地域の人材を活用して多様な体験であったり、学習活動を提供するため、放課後子ども教室の運営を行うものでございます。</p>

令和8年度の事業実施予定の内訳でございますが、まず小学生を対象に、主に体験型学習を行う「チャレンジ教室」につきましては、咸宜をはじめとする7教室、学習支援を行う「未来創生塾」につきましては、小学生を対象とする教室が、桂林をはじめとする4教室。

中学生を対象とする教室が、母子寡婦福祉会が中心となって運営しておりますアタックの1教室で、未来創生塾の合計は5教室でございます。これらの委託料として、合計369万4,000円を計上しております。

その他、放課後対策事業運営委員会の開催や、関係者の研修会への参加費用等合わせまして、事業費合計といたしまして379万6,000円を計上するものでございます。

財源内訳といたしましては、補助率3分の2の県補助金、学校との連携・協働による「地域教育力」向上事業費補助金247万8,000円を計上いたしまして、一般財源が131万8,000円とするものでございます。

次に、No.16の地区公民館管理費でございます。

経年劣化が進んでおります地区公民館の建物や設備について、安全な公民館運営を行う上で必要な修繕等にかかる費用を計上するものでございます。令和8年度につきましては、2つの修繕等を予定しているものでございます。

1つ目は光岡公民館の駐車場の整備工事でございます。

光岡公民館につきましては、昭和57年に建設され44年が経過しております。駐車場に凹み等が目立ちまして、歩行等に支障をきたす恐れがあることから、整備工事を実施するものでございまして、工事請負費200万円を計上するものでございます。

もう一つにつきましては、朝日公民館のトイレの改修工事でございます。朝日公民館のトイレにつきましては、現在男女それぞれ和式の便器しかないということで、現在の生活様式にあっていないことから、洋式に交換するとともに、トイレの壁のタイルが浮いている部分であったり、ひび割れの部分があるということから、合わせて改修を行うものでございます。

内訳といたしまして洋式化について162万3,000円、壁の改修について131万6,000円、合わせて293万9,000円を計上するものでございます。財源につきましては、朝日公民館のトイレの改修のうち、洋式化の工事について、災害時の避難所等の生活環境の向上等を目的としました施設整備に充当できます補助率3分の1の県補助金「防災・減災対策加速化支援事業費補助金」54万円を充当いたしまして、その他一般財源を43

	<p>9万9,000円とするものがございます。</p> <p>次に、No.18の大山文化センターの管理費でございます。</p> <p>これは、令和4年にリニューアルオープンいたしました大山文化センターの管理運営にかかる経費で、大山文化センターの管理費1,327万1,000円のうち、当センターが行っております事業に係る経費でございます。</p> <p>大山文化センターの利用実績は、令和4年7月のリニューアルオープン後の9ヶ月の利用者数が4,898人、令和5年度は9,559人、令和6年度が8,503人、今年度につきましては1月末までの10ヶ月間で7,582人となっている状況でございます。</p> <p>自主事業としての事業内訳といたしましては、大山の「大山地区住民自治組織」をはじめ、「大山スマイルマルシェ実行委員会」等の地域団体と連携を図りまして、自主事業等を行い、同日開催するなどしまして、文化芸術の触れる機会の提供と地域の賑わいの場の創出を行っているものございまして、事業費といたしまして、141万9,000円を計上するものがございます。</p> <p>財源は全て一般財源でございます。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>社会教育課の説明につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>次に、博物館の説明をお願いします。</p>
博 物 館 長	<p>博物館でございます。</p> <p>17ページ、No.19の博物館展示資料整備事業でございます。予算の内訳は、淡水魚の餌や水槽の照明器具などの消耗品費が38万円。展示機器のメンテナンスや展示資料の燻蒸業務などの委託料として149万2,000円。化石や剥製など展示資料購入の備品購入費として20万円を計上しております。</p> <p>博物館は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>博物館の説明につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>次に、淡窓図書館の説明をお願いします。</p>
淡 窓 図 書 館 長	<p>淡窓図書館でございます。</p> <p>18ページ、No.20の遠隔地図書貸出事業でございます。図書館から離れた地域の市民へのサービス向上を図るため、令和7年度までは振興局及び振興センター管内の地区公民館10館を</p>

<p>教 育 長</p>	<p>対象に、図書の貸出しと返却ができるサービスを実施していましたが、令和8年度から市内すべての地区公民館を通して、図書の貸出しと返却ができるサービスを開始するものです。</p> <p>少数ではありましたが、他の地区公民館でも利用できないかとの声もありましたことから、公民館運営事業団に協力依頼を行ったところ、了承いただくことができ開始するものでございます。</p> <p>図書の貸出し、返却については、従来通り、配送業者への委託により事業を行うものでございます。</p> <p>利用者からの申請により、週に1回、該当の地区公民館に配送し貸出しを行い、また返却があれば回収も行います。</p> <p>予算額は、本の配送用収納ボックス代2万9,000円と、配送と回収を行う配送業者への委託料16万7,000円、合計19万6,000円で、財源は一般財源でございます。</p> <p>次に、No.21の淡窓図書館魅力発信事業で、こちらは新規事業になります。昨年9月に、淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議の報告書が提出され、図書館の新たな機能やサービスなどを含めた「目指す図書館像」が示されました。</p> <p>この報告を受け、市では、目指す図書館像を具現化するため、現状の施設でも可能な取組について、図書館の魅力発信事業として実施するものです。</p> <p>具体的な内容としましては、わくわくするイベントの開催として、高校生のビブリオバトル大会、ボードゲーム大会、アニメ上映会などの実施に加え、既に行っているこどものスタンプラリーでの粗品プレゼントに加え、新たにガラポン抽選会を行い、景品の魅力アップと読書意欲の向上を図ります。</p> <p>また実証実験として、館内に飲食スペースや授乳コーナーの設置、声を出してよい時間帯の設定、アウトリーチサービスとして図書のPRに出向くことや、館内での電子書籍体験などを実施し、利用者のご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>予算額は、イベントの景品や講師謝礼の報償費5万2,000円、講師旅費の8,000円、ボードゲームや事務用品の需用費2万4,000円、飲食スペースや授乳コーナーを仕切るためのパネルなどの備品購入費28万1,000円、合計36万5,000円で、財源は一般財源でございます。</p> <p>淡窓図書館につきましては、以上でございます。</p> <p>淡窓図書館の説明につきまして、ご質疑等はございませんでしょうか。</p>
--------------	--

山 崎 委 員	<p>No.21の淡窓図書館魅力発信事業について、高校生のビブリオバトルとありますが、過去に実施したことはありますか。実施していた場合、参加者数や参加校をお尋ねします。</p>
淡 窓 図 書 館 長	<p>過去の実績として、平成28年に中学生以下と一般に分けて、図書館でビブリオバトル大会を実施したことがあります。参加者数は、発表する対象者の中学生以下では5名程度でした。</p>
山 崎 委 員	<p>これはとても大事なことだと思います。今後の図書館利用も兼ねてのことになりますから、中学生はもちろん、高校生もそうですが、ぜひ活発にアナウンスして、実施していただきたいと思います。</p>
教 育 次 長	<p>補足させていただくと、この事業は、今年度まで淡窓図書館の今後の在り方検討会議を開きまして、この検討会議で出てきた意見を具体化させたものとなっています。議会からは、検討会議の進め方等について、厳しいご意見をいただく中で、市長による予算査定の中でも「検討会議委員の意見もいただいているので、できることから予算化をした方がよい」とのことで急遽予算を積み上げました。</p> <p>只今ご質問のあったビブリオバトルについては、県立図書館が毎年開催しております。また、日田高校が毎年校内で大会を開催しております。本市は、市内の高校との連携協定を締結していますので、その範囲の中で、新年度になったら早速声掛けをして、日田高校に限らず、他の学校でも何かできればと思います。</p> <p>これまでに委員からは、図書館での学びと、地域づくりや歴史・文化を学ぶことに関し、意見をいただいておりますので、今回、前向きに取り組んでいきたいと思っております。</p>
教 育 長	<p>次に、人権・部落差別解消教育課の説明をお願いします。</p>
人 権 部 落 差 別 解 消 教 育 課 長	<p>人権・部落差別解消教育課でございます。</p> <p>19ページ、No.22の学校人権教育事業の中の小・中学校講師等派遣についてでございます。本事業は、小中学校の児童・生徒が、様々な人々の考え方や生き方との出会いを通して、人権感覚を高めること、また、教職員の指導力向上のための研修や保護者・地域の人権啓発などを目的とし、講師やゲストティーチャーの派遣を行うものでございます。</p> <p>事業の内訳といたしましては、1つ目に、市内小中学校の教職</p>

	<p>員を対象とした研修に関する企画内容、講師の選定および招聘または派遣のサポート。</p> <p>2つ目に、市内各小中学校における親子人権講演会等の企画内容、講師選定・派遣のサポート。</p> <p>3つ目に、小中学校の児童・生徒の人権学習に関わるゲストティーチャーの選定、派遣、事前打ち合わせなどのサポートでございます。</p> <p>事業費の内訳としましては、講師への報償費として87万5,000円、旅費として37万7,000円、合計125万2,000円を計上するもので、財源はすべて一般財源でございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教 育 長	<p>人権・部落差別解消教育課の説明につきまして、ご質疑等はありませんか。</p>
山 崎 委 員	<p>学校教育課や学校教育の中で人権の問題を随分扱っていますけれど、それと連携してやれるようなことはないのでしょうか。</p> <p>例えば、この事業は教職員を対象とありますが。</p>
人 権 部 落 差 別 解 消 教 育 課 長	<p>学校教育の中で行う人権教育を進めるために、教育委員会が主催して行う教職員研修につきましては、学校の状況や情勢、ニーズにあわせて、講師の派遣、選定等を行っております。</p> <p>それから、各学校で行う人権講演会につきましては、学校の方から、このような講師を呼んで欲しいという希望を受けまして、その学校の希望に沿う形で講師を選定し、日程調整等の派遣サポートを行う。それから必要な経費を当課で予算計上し、執行しているものでございます。</p>
教 育 長	<p>課が独立をした形になっておりますので、学校教育の人権に関しては、こちらの人権・部落差別解消教育課が完全に一本化して、今現在取り組んでいるところでございます。</p> <p>続きまして学校給食課の説明をお願いします。</p>
学 校 給 食 課 長	<p>学校給食課でございます。20ページ、No.23の学校給食センター管理費のうち、給食調理配送業務委託料についてです。本事業は、学校給食センターにおける学校給食業務を安全かつ衛生的に、また円滑に実施するための学校給食の調理配送業務の委託料でございます。</p> <p>給食センターは、来年度も13の小学校、7つの中学校、県立</p>

日田支援学校に通う児童・生徒・教職員の給食を調理する形になります。令和8年度の調理数としましては、4,665食を見込んでいるところでございます。

委託内容は、調理・配送のほか、食器等の回収、洗浄、消毒、保管の業務でございます。契約内容につきましては、令和6年度に「公募型プロポーザル」で業者選考を行いました。

令和7年度から令和11年度までの5年契約を締結し、令和8年度は2年目の契約となります。契約額は、1億4,082万2,000円です。財源内訳につきましては、大分県立日田支援学校からの負担金1,025万3,000円と、一般財源1億3,056万9,000円でございます。

続きまして、No.24の学校給食センター大規模設備更新事業についてです。本事業は、学校給食センターの厨房機器や、機械設備、配送車等について、更新計画に基づき、修理・更新を行い、安全・安心な学校給食の提供を行うものでございます。

令和8年度は、①器具消毒保管・包丁等消毒保管庫・カートイン消毒保管庫の更新事業5,907万円で、こちらは、建設当初から使用している機器で、初めて更新するものでございます。

②ガスヒートポンプエアコンの更新事業1,801万8,000円で、給食センターではガスを使った冷暖房を行っており、こちらも建設当初のままでございましたものを更新するものでございます。

③調理室内休憩室整備137万円でございます。

熱中症対策として、調理室内に新たに休憩室を、縦2.2メートル、幅1.5メートル、高さ2.4メートルの休憩室を整備するものでございます。

このほか、保守点検、安全点検の点検結果に基づきます、大規模改修に必要な予算400万円を計上しているものでございます。予算総額としましては、8,245万8,000円。

財源内訳につきましては、過疎対策事業債7,320万円と、一般財源925万8,000円でございます。

21ページは、センター1階を、22ページはセンター2階の見取り図でございます。枠がこみをしている番号が、今回の①②③の工事に関わる機械等の位置をお示ししているものでございます。

次に、23ページ、No.25の学校給食運営事業（給食費の無償化）についてです。本事業は、児童・生徒に栄養バランスの取れた安全・安心な給食の提供と食育の推進を図るものです。

令和6年度から、子育て支援として保護者負担の軽減を図るた

め、国に先駆け、日田市立の小中学校に通う児童生徒分について学校給食の無償化を行っています。

令和8年度からは、市内小学校に通う小学生分について、国による無償化が実施されるものでございます。

令和8年度の市全体の給食の調理食数につきましては、5,104食を見込んでおります。

このうち、小学生、中学生の児童・生徒数につきましては、令和7年10月時点の新年度入学予定者を含め、小学生2,773名、中学生1,527名の合計4,300人分を計上しているものでございます。

給食費についてですが、令和6年度に見直しを行ったところですが、昨今の物価上昇見込み、令和8年度からは、小学生、につきまして、月額4,900円を800円増の月額5,700円に、中学生を月額5,500円から900円増の月額6,400円に、改定することとしております。

歳入欄をお願いいたします。小学生・中学生の給食費の総額としましては、①と②の合計額2億7,702万1,000円を見込んでいるところでございます。この金額が無償化による保護者負担の軽減額という形になります。

生活保護世帯、大分県立支援学校に通う児童生徒、教職員等からは給食費をいただいております。本来の給食費の収入総額としましては、3億3,170万6,000円となります。この金額が、予算内訳の需用費、賄材料費ですが、こちらと同額となっているところでございます。

予算内訳の欄をお願いいたします。運営事業にかかる総支出額は3億3,346万8,000円であり、その大半が賄材料費となっております。負担金・補助金及び交付金の107万6,000円につきましては、アレルギー等のため給食を食べることができない児童生徒の保護者に対し、学校給食費相当額を上限に給付する給付金の総額を計上しているものでございます。

財源内訳の欄をお願いいたします。財源としましては、国の給食費負担軽減交付金、こちらは県の支出金になりますが、1億5,781万4,000円。その算定につきましては、先ほど申しました小学生の人数から生活保護世帯の分を差し引いた金額で算出しております。その他、水郷ひた応援基金の繰入金が1億400万円。

このほか、諸収入としまして、教職員等からの給食費など、5,485万3,000円、残りが一般財源1,680万1,000円となっているところでございます。

<p>教 育 長</p> <p>木 下 委 員</p>	<p>無償化にかかる費用としましては、右最下段に記載しております。2億7,809万8,000円となります。このうち、国からの交付金1億5,781万4,000円が充当されることとなります。私からは、以上でございます。</p> <p>学校給食課の説明につきましてご質疑等ございませんか。</p>
<p>木 下 委 員</p>	<p>No.25の給食費の無償化について、令和8年度より、国からの2分の1の補助金が交付されることになったと聞いております。その他にも、都道府県への地方交付税を2分の1、充てることができるというふうにも聞いております。</p> <p>今回、財源内訳の国からの補助金については、一番上の県支出金の1億5,700万円が該当すると思うのですが、地方交付税は、今回の財源には入っていないのでしょうか。</p>
<p>学 校 給 食 課 長</p>	<p>国のお金自体は県の方に入ってきて、そして県から国の分を含めて市に入ってくる形になりますので、結局、国の分も、この県支出金の中に入っている形になるかと思えます。</p>
<p>木 下 委 員</p>	<p>聞いた話によりますと、国の補助金が2分の1で、地方交付税から充てる部分が2分の1ということで、ほぼ自治体の負担がなくなるとお聞きしたのですがいかがでしょうか。</p>
<p>教 育 次 長</p>	<p>新聞報道等で出ている内容は、国からのお金が半分で、残りの半分は交付税で見ますと。だから実質的には、地方の負担はありません。このような報道を見られたと思うのですが、これは県の段階の話になります。市町村には、基本的には10分の10が入るという仕組みになっていますので、交付税措置を受けるのも県ということで、市自体は国の言い方でいうと、市の負担無しで小学生の給食費を無料にします、となります。</p> <p>ただし、今、問題になっているのが、無料にしますと言っても、原材料費の単価分について、今回、本市は小学生では5,700円に引き上げる予定ですが、この金額で見ると、国の単価が小学校の場合は5,200円で、そこで超過分500円が出まして、500円掛ける食数分が結局、実質市の負担となってしまいます。</p> <p>今回に関しては、県が間に入りますので、市は基本的には10分の10の措置がありますが、単価差額分が市の負担になると考えております。</p>

山 崎 委 員	<p>単価が上がった分は市で出さなければならないということですか。</p>
教 育 次 長	<p>このあたりは大変難しいところで、市長からは「質の低下は避けるように」と言われています。単価を下げて、国からの金額に見合うようにすれば、そこはイコールになりますが、そうすると質が下がってしまいます。逆に、市議会からは超過が無いように言われています。</p> <p>この件については、その自治体に見合った分として、十分な補助を国として責任を持ってやってくださいと、市長が要望を出しておりますので、今後引き続き、そういった要望を市長のレベルで続けていくような形になっていこうかと思えます。</p>
山 崎 委 員	<p>物価が上がれば市の負担がドンドン増えていくことになりますね。</p>
教 育 長	<p>議案第4号について説明と質疑が終わりました。</p> <p>議案第4号につきまして、原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第4号 令和8年度日田市一般会計予算教育費については原案の通り可決されました。</p> <p>審議につきましては以上となります。</p> <p>その他についてお願いします。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>次回、令和8年3月期定例教育委員会の日程についてでございます。3月期の定例教育委員会につきましては、3月30日月曜日、14時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>3月期定例教育委員会の日程は、ただ今の説明のとおり、3月30日月曜日ということでございますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>ご意見がなければ、以上で2月定例教育委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後5時20分</p>